

第8期（2024年度）事業計画書

（2024年8月1日から2025年7月31日まで）

定款第4条に定める事業の充実を図り、財団の管理運営を遺漏なく行い、本財団に対する支援者・関係者の一層の理解を深めるため次のとおり各事業を実施する。

1. 生物学及び周辺分野における基礎研究の助成事業【予算 61,497千円】

基礎科学（一般）及び基礎科学（酵母）研究の助成

世界に先駆けて生物学及び周辺の新分野を拓き得る先見性・独創性に優れた基礎研究、国や公的機関による助成がなされにくい基礎研究、及び任期切れ・定年等により継続が困難となる基礎研究に対して、基礎科学（一般）として総額48,000千円の研究助成を行う。

また、日本における酵母研究は国際的にも高く評価されてきたが、研究の拠点が急速に、全国規模で失われつつあり、酵母研究の底上げの必要性が極めて高い現状に鑑み、酵母の生理現象を対象とした基礎生物学的研究に対して、基礎科学（酵母）として総額12,000千円の研究助成を行う。

研究助成の選考審査費用として1,382千円、通信費等の諸経費として115千円、計61,497千円を計上する。

[予算 61,497千円]

2. 研究者と社会との新たな連携を構築する事業【予算 53,144千円】

(1) 創発セミナー（企業経営者・研究者、大学等研究者との勉強会・交流会）

基礎科学の先端的研究者と企業の第一線の研究開発者が一堂に会し議論する中で気づきを得ることを目指し、年10回開催する（下表参照）。対面開催4回（第1、4、6、8回）、オンライン開催6回を予定する。対面開催で行う場合、セミナー開催にかかる費用に充てるために、理事長が承認した参加費（招待者を除く）を徴収するものとする。オンラインセミナー及び感謝の集いは参加無料とし、交流会を開催する場合、参加者からは4,000円程度の実費を徴収する。

回	時期	内容
1	2024/9	感謝の集い：本財団の支援者を対象として財団の活動報告及び講演会を行う。
2	2024/10	アドバイザー会議：財団のアドバイザーと財団の研究者等で、財団の活動及び大学と企業のより有効な関係構築等について議論を行う。
3	2024/11	酵母コンソーシアム：酵母を材料とする一般生物学研究
4	2024/12	講演会及び研究助成贈呈式
5	2025/2	創発セミナー
6	2025/3	アドバイザー会議
7	2025/4	創発セミナー
8	2025/5	酵母コンソーシアム
9	2025/6	創発セミナー
10	2025/7	創発セミナー

講師謝金、旅費交通費、セミナー開催費、会議費、通信費、消費税等として、4,604千円を計上する。

[予算 4,604千円]

(2) 市民講座の開催（市民及び学生を対象とした基礎科学の普及啓発活動）

市民及び学生に基礎科学の面白さや大切さを理解してもらい、科学の振興を支援する文化の醸成及び地域社会への貢献に資するため、年1回、「市民のための基礎科学講座」を開催する。来期は2024年8月24日（土）にウェビナーにて開催する。また、財団の研究者会員を中心として、少人数の一般参加者を集い科学を身近に楽しめるように、年4回程度、「サイエンスカフェ」を各地方において開催する。講師謝金、旅費、通信費等として、498千円を計上する。

[予算 498千円]

(3) 「小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」の開催

次世代を担う小中高生に将来基礎研究者として活躍して欲しいという願いを込めて「小中高生と最先端研究者とのふれ合いの集い」を年2回開催する。2025年3月23日（日）に長野県で開催し、第一線の研究者による講演のほか、大学や企業の協力を得て、主に小、中学生が実験や観察を体験できる科学体験ブースを企画する。また、科学好きの中学生及び高校生と研究者との交流を深めるための会を別に企画する。講師謝金、体験ブースに協力する学生アルバイト謝金、会場費、旅費交通費、通信費等として、1,014千円を計上する。

[予算 1,014千円]

(4) 微生物機能探究コンソーシアム（略称、微生物コンソーシアム）

アカデミアと企業が協力して微生物学の振興をはかることを目的として活動する。アカデミア及び企業からの委員で構成される運営委員会において、運営方針、活動計画・予算、及び活動報告・決算報告の審議・承認を行い、直近の理事会に上申する。活動の中心となるバーチャル研究所では、4つの研究グループごとに定例会を開催して議論を進める。定例会はグループごとのオンライン開催を基本とするが、1グループ年6回のうち、対面開催などを2回ずつ行うものとする。また4グループ全体で議論する全体会を年3回対面で開催する。この4つの研究グループの活動には微生物コンソーシアム参加企業からの年会費及び企業からの用途指定寄付金を充てることとし、講師謝金、旅費交通費、会場費、会議費等として2,960千円、研究委託費として13,600千円、人件費として4,000千円、年会費に係る消費税（簡易課税）1,340千円、計21,900千円を計上する。また微生物コンソーシアムの活動のひとつとして展開されるプラスミドDB構築については、企業の用途指定寄附金を充てることとし、研究委託費24,700千円を計上する。

本事業については今後の財源確保に向けて、新たな会費・寄付の募集方法について検討を行う。

[予算 46,600千円]

(5) 企業の課題解決に向けた相談対応

企業から課題に関する相談があった場合に助言、研究者の紹介等をする。収益事業として実施する。年間1件（55万円の収益）を見込み、協力研究者への謝金、旅費交通費、法人税、消費税等として、428千円を計上する。

[予算 428千円]

(6) 基礎科学の普及のための書籍、教科書等の発行

書籍発行に向けた企画、資料の収集等、準備を行う。今期の予算計上はなし。

[予算 0 千円]

3. 事業推進 【予算 8,830 千円】

前記1及び2の事業を適切に運営するための事業推進費を設ける。

前年度に引き続き、ニュースレターの発行による財団の事業紹介、財団 X (旧 Twitter) でイベントや理事長の活動について投稿し、財団の情報開示を積極的に行う。2020 年の三井住友銀行との「遺言信託業務の紹介に関する協定」締結に加え、READYFOR 株式会社と提携し、遺贈寄付受入れ体制を推進する。また郵便振込書付財団案内書を作成し配布することで、更なる寄付金、会員募集に努める。

4. 管理業務 【予算 12,640 千円】

財団運営に係わる管理業務として、理事会、監事監査、評議員会を開催するとともに、行政庁への届出等対応業務やその他の諸業務を適切に行う。

以上